

■令和4年度 第2回空家座談会を開催しました！

日 時：令和5年3月1日（水）午後6時～7時半
場 所：大牟田市総合福祉センター2階 大会議室
参 加 者：平原校区まちづくり協議会
人 数：9名



【内容】

●カードゲーム

講師：一般社団法人 住教育推進機構 井上 静夫氏、山城 京子氏

- ・講師2名による進行で、カードゲームが行われました。
- ・「空き家・空き地相談窓口」川添理事長、島崎氏も参加していただきました。
- ・天領校区主任児童委員の田中氏、有明高専の沖氏もオブザーバーとして参加です♪

カードゲームのルール

- ・4～6人程度を1つの班とします。（今回は、1班9名としました。）
- ・赤、青、黄のカードを自由に選択します。答えたくないカードは選ばなくてよい。
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。（選択肢があれば、その中から選ぶ）
- ・話を広げます（アドバイスなども聞く）
- ・否定をしません。（他人の意見を聞く）

質問. 子供にはどんな遊びをしてもらいたい？

（意見）

- ・ゲームではなく友達と遊んでほしい。
- ・今は放課後に学校や空き地で遊べない。

（講師より）

- ・他の市にファミリー活動といって、小学生が帰宅後に地域で集まって遊ぶ取り組みがある。時代に応じた取り組みがあるといいですね。



質問. 将来、都会と田舎、住むならどっち？

A. 都会 B. 田舎 C. 2地区

（意見）

- ・2地区に住みたい。福岡市は美術館や観光も色々近いのがよい。
- ・バスの本数が減り、買い物難民が増えている。
- ・高齢になったら病院とスーパーの間に住みたい。車を運転できなくなることを考えなければならない。

（講師より）

- ・昔は3世代が一緒に住み、若い世代が買い物に行く等、互いに補い合い生活していた。



昔の暮らしは理にかなっているところがある。
⇒（意見）他人との同居でもいいかもしれない。

質問. 家を長持ちさせるためにあなたがしていることは？

（意見）

- ・ 瓦や外壁の塗装をしてもらった。
- ・ 築 100 年くらいの家をリフォームしながら住んでいる。
- ・ 雨樋が壊れているが、将来住む予定の息子がそのままでいいと言うのでそのままだ。

（講師より）

- ・ 雨漏りは白アリの発生率が高くなるので修繕を早くしたほうがよい。
- ・ 虫歯と一緒に、歯磨きをきちんとすれば予防できるが、怠れば治療が必要になる。
- ・ 昔は家の畳上げを冬にしていた。床下まで乾燥させ、家の中まで紫外線を通し、理にかなっていた。昔の人はメンテナンスや掃除をまめにしていて見習うべきところがある。



質問. 空家を所有したがどうしたらよいかわからない。あなたならどうする？

A. 役場に相談する B. 不動産屋に相談する C. 一人で悩む

（意見）

- ・ 行政でも売買は難しいだろうから専門家の不動産屋に相談したい。
- ・ 最近、校区内で空家実態調査をして約 200 件ほど空家があった。道が狭いところが多いのと、特に地主と家主が違うような家が多く、難しい案件が多い。
- ・ 所有している家が急な坂道にあり、不動産屋に相談してもなかなか売却できない。

（講師より）

- ・ 長崎の事例で急な階段の上の空家を 10 年間賃貸すればもらえる仕組みができた。誰も使わないだろうと思っても、以外とニーズはあるかもしれない。

●「空き家・空き地相談窓口」のご紹介

ありあけ不動産ネット協同組合

理事長 川添 健一 氏



【感想】

今回は地域の役員のメンバーで参加していただきました。先日、空家の実態調査に地域で取り組まれたこともあり、活発な意見が出ていました。少子高齢化や核家族化など、空家が増加する背景には多くの事象が絡んでいてとても複雑です。しかし、この座談会のように、地域の皆さんで住まいや空家、地域について話し合い意識を高めることが、地道ですが大事なことだと改めて思いました。

来年度もひきつづき空家座談会を行っていきます。ご興味のある方はぜひお問い合わせください！

<T. N>